

令和5年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：エネシフ湖北

活動地域：滋賀県長浜市を中心とする滋賀県湖北地域

活動におけるテーマ

ゼロカーボン・ローカルSDGsに関するPF形成

本事業への関わり：1年目

活動団体と地域の紹介

団体の目的 滋賀県湖北地域において、**エネルギーシフト**を通じて地域課題を解決し、持続可能な地域社会やローカルSDGsを実現するための研究や活動を行うネットワーク組織

目指す地域の姿 ○産業・社会構造を変革するイノベーションを起こし、人口減少等の様々な**地域課題を解決すること**。
○2050年に向けて激変する世界でも通用する能力を持ち、いきいきと生きていける**次世代の人材を育成**するとともに、そうした人材が活躍できる雇用・職業やフィールドが多くある地域を目指す。

地域が持つ資源 ○豊かな自然環境
○活発な経済活動やまちづくりの文化・気質



再エネ供給エリア



エネルギー需要エリア



産業・集積区域
生産工場が集積した地域



中心市街地・居住区域
住宅地が広がり、かつ日常的な商業機能なども点在する地域

商業・観光区域
観光・商業を中心とした経済活動の集積地域

活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- 人口減少、生産年齢人口の減少による地域社会の機能維持
- 気候変動の影響
- エネルギー代金の流出

地域の課題が解決された状態

- (環境)
 - ゼロカーボンシティの実現
 - 地域の農地、林地の機能維持
 - 琵琶湖を中心とした地域の自然環境の保全
- (経済)
 - 地域経済の安定
 - 地域住民の所得向上
- (社会)
 - 地域の雇用維持
 - 地域外の人々との交流促進
 - 地域のシビックプライドの醸成

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

<体制>

理解者の緩やかな広がり & 事業を生み出すコアメンバーの2層構造

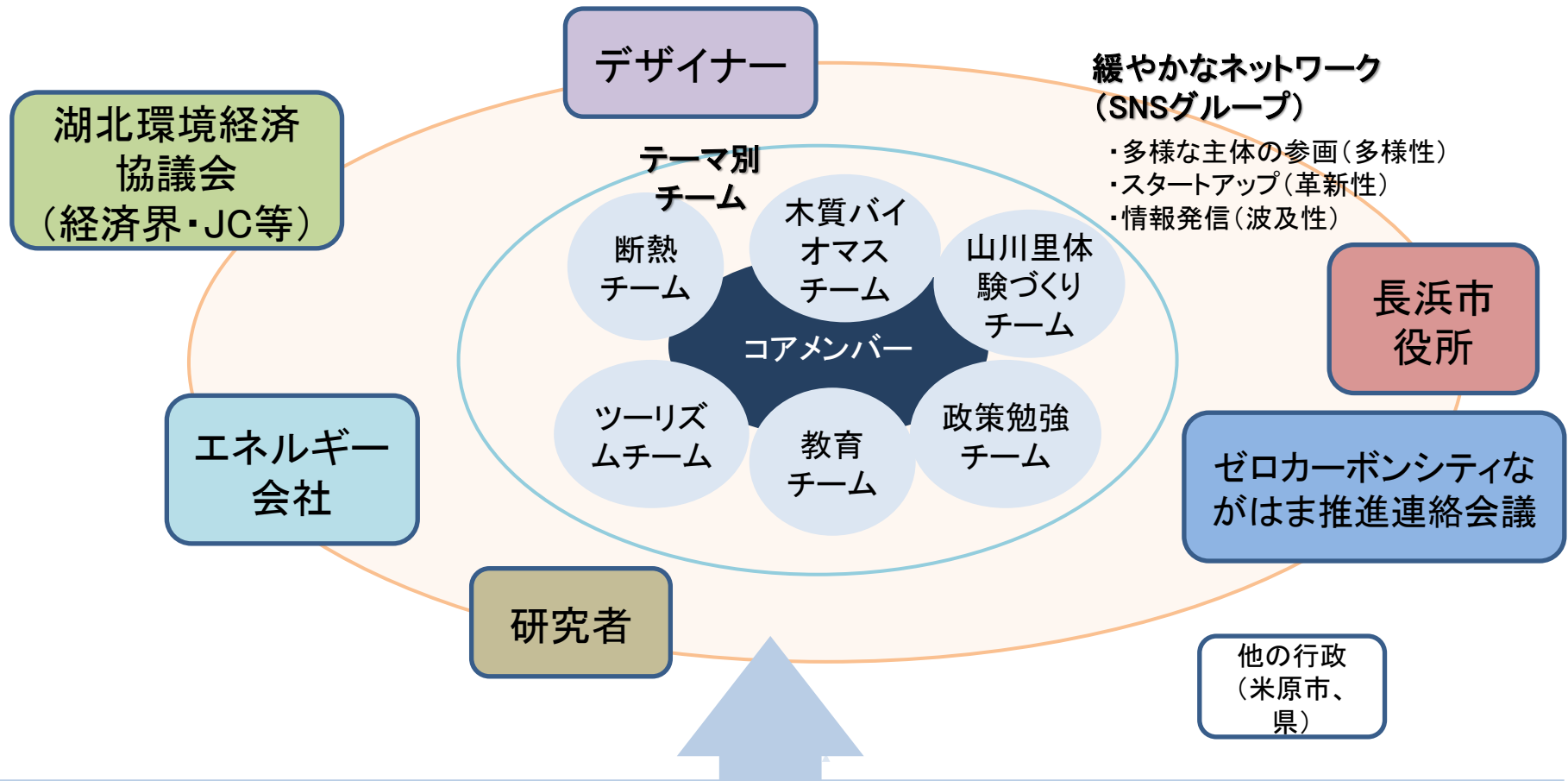
<機能>

多様な人材が出会う場 & 事業やプロジェクトが創出される場

<規模感>

コアメンバー：テーマごとに5名程度、全体：100名程度、常に新しい人が参入

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ



足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- 人材：地域内のエネルギー関係の専門人材の育成が必要
- 資金：地域内の資金循環の仕組みづくりが必要
- 情報：先進地域とのさらなる横のつながりによる優良事例の収集が必要

※ピースはある程度そろっている。あとはそれぞれが交じり合い、仕組化していくことが必要。

年間スケジュール

